

請求書

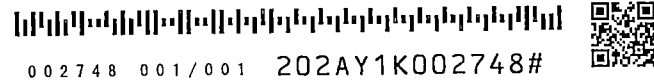
2026年02月01日

001/001

1-1

〒420-8601
静岡県
静岡市葵区追手町9-6

自民改革会議 様



ご請求番号	[REDACTED]
お客様コード	[REDACTED]
ご請求年月	2026年01月 ご利用代金
ご請求額	57,200 円

登録番号 T7010001025724

振込手数料は貴社にてご負担お願い申し上げます。

口座名 日経メディアマーケティング株式会社
振込先 三井住友銀行 東京中央支店 (当) 252732
三井住友銀行 京橋支店 (当) 6572717
みずほ銀行 兜町支店 (当) 0120986
三菱UFJ銀行 日本橋支店 (当) 9025980

〒100-8006
東京都千代田区永田町1-3-7
日経メディアマーケティング株式会社

お問い合わせ先：弊社ホームページのFAQをご参照、または下記担当まで
請求・入金室 kanrio@nikkeimm.co.jp
静岡新聞社 [REDACTED] 284-9661

2026年01月 ご請求内訳

ご利用先名/ユーザーコード	月基本料	情報利用料					合計
政務調査事務所 [REDACTED] 静岡新聞データベースplus日経レコ	26,000	0					26,000
取柄崎比事協会 [REDACTED] 静岡新聞データベースplus日経レコ	26,000	0					26,000
項目計	52,000	0	0	0	0	0	52,000
合計(10%対象) 消費税	5,200		0				57,200
						請求額合計	57,200



支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	新聞購読料 (静岡・読売・毎日・朝日・産経・中日・日経・木材)		
年月日	令和8年1月26日~令和8年1月27日	金額	60,710円

目的	調査研究に関する情報収集
使途	令和8年1月分 購読料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動の調査研究における情報資料

《領収書貼付枠》

領収証 (口座振替)

支店 区域 順路 No. 振
01 011 072 [] 自民改革会議 様

※は軽減税率対象です

品名	数量	金額(円)	備考	領収金額 (含消費税)
*朝日新聞	2	8,000		8,000 円
10%対象 0 (内消費税 0)				2026 年 01 月分
8%対象 8,000 (内消費税 593)				領収致しました。(引落日) 2026 年 01 月 26 日

静岡中央新聞販売(株) 登録番号:T3080001023923 係 []
静岡市葵区竜南3丁目17-2
フリーダイヤル 0120-57-7700 TEL 054-295-7700

ご購読ありがとうございます。本証はご保存下さい。金額その他を訂正したものは無効です。

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	60,710円	100%	60,710円



〒420-0853

静岡市葵区
追手町
県庁本館3F

<金融機関口座振替済>

9-6

領収証

(21-06)【お客様照会番号】

26年 1月分

1-2

ご購入ありがとうございます
ございます。

自民改革会議

様

購読紙	数	金額
*毎日新聞 朝刊	2	8,400
*日本経済新聞	1	4,800
*静岡新聞	2	7,960
合計	*****	

*軽減税率対象

取次店 八千代町支

登録番号T7080001000654

26年 1月 26日

文字訂正印,領収印無きは無効



本店/静岡市葵区七間町8番地の20

☎420-0035 TEL (054)255-2231(代)

☎ 0120-40-2083

ご愛読ありがとうございます

上記新聞代金正に領収致しました



〒420-0853

静岡市葵区
追手町
県庁本館3F

<金融機関口座振替済>

9-6

領収証

(21-06)【お客様照会番号】

26年 1月分

ご購入ありがとうございます
ございます。

自民改革会議

様

購読紙	数	金額
*産経新聞	2	7,800
*日刊木材新聞	1	6,750
*中日新聞	2	8,800
合計 [税込]	¥44,510	

*軽減税率対象

取次店 八千代町支

登録番号T7080001000654

26年 1月 26日

文字訂正印,領収印無きは無効



本店/静岡市葵区七間町8番地の20

☎420-0035 TEL (054)255-2231(代)

☎ 0120-40-2083

ご愛読ありがとうございます

上記新聞代金正に領収致しました



読売新聞 領収書

区域113 全戸0058

お問合せNo

登録番号 T4040001007854

お名前 自民改革会議 様
静岡県庁東館東12-2-12-3

08年 1月分 振替

銘	部数	金額	左記の通り領収しました
1 読売新聞朝刊 *	2	8,200	
2			
3			
合計	8,200円		領収日 年 月 日

※は軽減税率(10.0%対象
(8.0%対象

0円消費税
8,200円消費税
0円)
607円)



読売センター静岡県庁前

株式会社 よみうりエコー
静岡県静岡市葵区駒形通3-3-3
TEL 054(252)0441



自民改革会議 御中

発行日 2026年01月09日

領収証番号 0000000866

リコーリース株式会社



東京都港区東新橋1丁目5番2号

領 収 証

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
下記金額を正に領収させていただきましたこと、お知らせ申し上げます。

印紙税申告納
付につき芝
税務署承認済

領 収 日	2026年 1月 5日
領 収 額	54,340 円

お支払方法	口座振替
振替口座	口座番号の下3桁は、お客様情報保護のため「***」と表示しています。

領収明細書

契 約 番 号	請 求 期 間	回 数	金 額	消 費 税 等
[REDACTED]	26. 1. 1~26. 1. 31	58	49,400	4,940

続きは裏面をご覧ください。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広報費</u> ・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	自民改革会議ホームページ更新費用		
年月日	令和8年1月30日 ~ 令和 年 月 日	金額	24,750 円

目的	県政に係る情報等を県民に報告
使途	令和8年1月分 更新料
政務活動・ 県政との 関連性	県の施策、議会での発言内容、政務活動状況などを掲載し、情報を広く伝えるとともに意見を聴取し、県政に反映させる。
<<領収書貼付枠>> 振込手数料 550 円 24,200 円+550 円=24,750 円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	24,750 円	/	24,750 円
		100%	

処理日時 2026年01月27日 11時58分41秒

■取引情報

取引ID	260127000239824
受付番号	0127002
取引区分	振込
日付	指定日 01月30日
取引名	01月27日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	浜松磐田信用金庫 (1503)
振込先口座	原島支店 (029) 普通 2130751
受取人名	かイマ知
登録名	株式会社イマクロ

■振込金額

振込金額	57,200円
税込手数料	550円
引落合計金額	57,750円

1-4
1-5
合算

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2026年01月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2026年01月30日
承認日時	2026年01月27日 11時53分
コメント	会派HP更新費用 (R8.1月分) 政務活動費管理システム保守サポート費用 (R8.1月分)

終了

NO. [REDACTED]
2026年 1月 25日

御 請 求 書

自民改革会議 様

Imacro Co.,
株式会社イマクロ
〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町1-36
TEL 053-422-7047

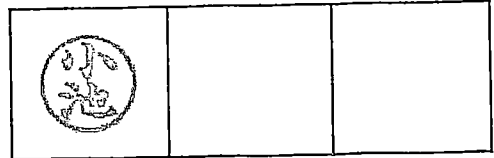
1-4
1-5

登録番号 T3080401028126

担当者 小池 敏彦

下記の通り、ご請求申し上げます。

合計金額 ¥57,200



品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
自民改革会議様ホームページ				
2026年1月分サーバレンタル・更新管理費	1 式	22,000	22,000	
政務活動費管理システム				
2026年1月分保守サポート費用	1 式	30,000	30,000	
合計(税無)			¥52,000	
消費税(10%)			¥5,200	
総計(税込)			¥57,200	

備考:

振込先: 浜松磐田信用金庫 原島支店 (普)2130751 株式会社イマクロ 代表取締役 小池敏彦

1-4

領収書

2026年1月30日

自民改革会議 様

Imacro Co.,

株式会社イマクロ

〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町436

TEL 053-422-7017

登録番号 T3080401028126

下記の通り領収いたしました。

合計金額 **¥24,200 (内消費税 ¥2,200)**

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
2026年1月分更新費用、サーバレンタル費用	22,000	1	¥22,000

税抜合計金額	¥22,000
内消費税額(10%)	¥2,200

1-5

領収書

2026年1月30日

自民改革会議 様



〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町1-56

TEL 053-422-7017

登録番号 T3080401028126

下記の通り領収いたしました。

合計金額 **¥33,000 (内消費税 ¥3,000)**

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
2026年1月分 政務活動費管理システム保守サポート費用	30,000	1	¥30,000

税抜合計金額 ¥30,000

内消費税額(10%) ¥3,000

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	プロバイダー料 1月分		
年月日	令和8年1月30日 ~ 令和年 月 日	金額	3,850円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>> 3,520円+振込手数料330円=3,850円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	3,850円	100%	3,850円

処理日時 2026年01月27日 11時50分18秒

■取引情報

取引ID	260127000236946
受付番号	0127001
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 01月30日
取引名	01月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	草薙支店 (147) 普通 0645922
受取人名	かトコちゃんねる 株
登録名	(株)トコちゃんねる静岡

■振込金額

入金金額	3,520円
税込手数料	330円
引落合計金額	3,850円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2026年01月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2026年01月30日
承認日時	2026年01月27日 11時50分
コメント	プロバイダー料金 (R8.1月分)

振込依頼を受けました。
振込依頼は 1月30日扱いです。

〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

自民改革会議 御中

適格請求書発行事業者登録番号 T1080001002664



1-6

請求書

請求書No. [REDACTED]

2026年1月30日

自民改革会議 御中

708851901

〒424-0888 静岡市清水区中之郷2-1-5
株式会社 トコちゃんねる静岡



下記のとおりご請求申し上げます。

TEL 054-347-9811

請求金額

¥3,520 -

項	摘要	数量	単価	金額
1	ひかりファミリー隼コース(月払) 2026年1月分	2	¥1,600	¥3,200
小計				¥3,200
消費税 (10%)				¥320
合計				¥3,520

※お支払いは下記銀行弊社口座へ2026年2月末迄にお振り込み下さい。

静岡銀行 草薙支店
普通口座No. 0645922
口座名 株式会社 トコちゃんねる静岡

※振込手数料につきましては、貴社負担にてお願いいたします。
※ご請求内容についてお問合せの際は「アクロス請求書について」とご申告ください。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	静岡銀行 Web-PCバンキング利用料、データ伝送利用料 1月分		
年月日	令和8年2月16日～ 令和 年 月 日	金額	5,500円

目的	_____																																																										
使途	_____																																																										
政務活動・ 県政との 関連性	_____																																																										
<<領収書貼付枠>> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年月日</th> <th>記号</th> <th>お支払い金額</th> <th>お預かり金額</th> <th>差し引き残高</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>08-02-16</td> <td>BF *1,650</td> <td>WEB-PCデスクリョウ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>08-02-16</td> <td>BF *3,850</td> <td>データ伝送</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>08-02-20</td> <td>BF *40,283</td> <td>RL)リコ-シヤハ°ム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						年月日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備考	1						2						3						4	08-02-16	BF *1,650	WEB-PCデスクリョウ			5	08-02-16	BF *3,850	データ伝送			6	08-02-20	BF *40,283	RL)リコ-シヤハ°ム			7						8					
年月日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備考																																																						
1																																																											
2																																																											
3																																																											
4	08-02-16	BF *1,650	WEB-PCデスクリョウ																																																								
5	08-02-16	BF *3,850	データ伝送																																																								
6	08-02-20	BF *40,283	RL)リコ-シヤハ°ム																																																								
7																																																											
8																																																											

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	5,500円	/	
		100%	5,500円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	電話料 11月分		
年月日	令和 8年1月30日～ 令和 年 月 日	金額	6,238 円

目的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____

※納付場所等は裏面を御覧下さい。

静岡県 納入通知書兼領収書

公

ゆうちょ銀行・郵便局の窓口又はATMでお支払いの場合は、左図一枚をお出しください。

69

420-8601
静岡県静岡市葵区迫手町
9-6

自民改革会議 代表 鈴木 澄美
(電話料金) 様

年度	令和 7 年度	会計科目	会計 01 款 14 項 07 目 02 節 01			
収納機内番	22000	納付番号	25000 01121 01000 19694			
調定番号	2501299-	1	確認番号	072418	納付区分	315
金額	6,238 円		納期限	令和 8年 1月30日		

所轄名(連絡先) 財務部 総務課 電話: _____

ただし 県庁舎管理費負担金
NTT電話使用料(令和7年11月分)

上記の金額を納期限までに納めてください。
令和 8年 1月15日

静岡県知事

指定
静岡県指定代理金融機関
収納代理

上記の金額を領収しました。

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	6,238 円	100%	6,238 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	コピーカウント料 1/20 検針分		
年月日	令和 8年 2月 20日～ 令和 年 月 日	金額	40,283 円

目的	資料等のコピー
使 途	令和8年1月分 カウント料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動に関する資料作成
<<領収書貼付枠>> 通帳の写しは < 1-7 > に添付	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	40,283 円	100%	40,283 円

1-9

RICOH

発行日 2026年 2月28日

領収証No. BB0827

領収証

自民改革会議 様

いつもリコー商品をご愛顧いただきましてありがとうございます。
2026年 2月20日にお支払いいただきました代金の領収証を
お送りいたしますのでご査収ください。

領収種別 自振

金額

¥40,283

但し、商品代として

印紙税申告納
付につき大森
税務署承認済

リコージャパン株式会社
東京都大田区中馬込一丁目



(お問合わせ)

部 門 請求書お問い合わせ窓口

TEL 0120-611-099

※当社ではこのフォームでの領収証には、黒色の印鑑を使用しております。
※金額等を訂正したものは無効とします。
※再発行は出来ませんので、大切に保管願います。
※入金取消し等の連絡があった場合、本領収証は無効となります。

ご請求書
(兼 振替予定金額のお知らせ)

RICOH

420-8601
静岡県静岡市葵区追手町
9-6 静岡県庁本館3F

自民改革会議 様

№:0001/0003

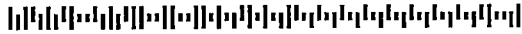
発行日2026年01月20日 請求No.

1-9
リコージャパン株式会社
登録番号:T1010001110829
お問合わせ 請求書お問い合わせ窓口
吹田市江の木町34-5



TEL:0120-611-099 5010315 50100152

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください



120AKA1002352# 003580 0001/0003

下記の通りご請求申し上げます。

2026年01月20日締分 振替口座は右記の通りです。

今回ご請求金額(税込) 40,283 円

2026年02月20日に上記金額を振替させていただきます。

【お取引明細】

月日	商品名	伝票No. ご発注No.・備考	数量	単価	お買上金額 [税抜]	消費税金額
01.20	IMC3000 H°パフォーマンスチャージ	301001 01/10 ヌメ			4,368	-
01.20	IMC3000 H°パフォーマンスチャージ	301002 01/10 ヌメ			8,281	-
01.20	IMC3500 H°パフォーマンスチャージ	301003 01/10 ヌメ			10,121	-
01.20	IMC3500 H°パフォーマンスチャージ	301004 01/10 ヌメ			13,851	-
	お買上金額 合計	(税込)	40,283		36,621	3,660
	10%対象	(税込)	40,283		36,621	3,660

【お知らせ】

お問合せの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願い致します。手数料不要の口座引落もご用意しております。

■サービス料金計算明細

<伝票No 301001 >
・トナー込み契約です。

IMC3000 機番:624150	今回検針内容 1月10日	前回検針内容 12月10日	ご使用カウント
モノカラー総出力	16,614 カウント	16,422 カウント	192 カウント
フルカラー総出力 ①	9,974 カウント	9,813 カウント	161 カウント
フルカラーコピー (①-②)	2,129 カウント	2,114 カウント	15 カウント
フルカラープリント ②	7,845 カウント	7,699 カウント	146 カウント

パフォーマンスチャージ 基本料金	単価/金額	カウント/月/率	内訳金額
7年目以降アップ額	3,900円	1ヶ月	3,900円
合計(税抜き)			468円
			4,368円

<伝票No 301002 >
・トナー込み契約です。

設置先名:自民改革会議 IMC3000 機番:658066	今回検針内容 1月10日	前回検針内容 12月10日	ご使用カウント
モノカラー総出力	140,824 カウント	138,633 カウント	2,191 カウント
フルカラー総出力 ①	22,921 カウント	22,679 カウント	242 カウント
フルカラーコピー (①-②)	17,345 カウント	17,239 カウント	106 カウント
フルカラープリント ②	5,576 カウント	5,440 カウント	136 カウント

ご 請 求 書

RICOH

420-8601
静岡県静岡市葵区追手町
9-6 静岡県庁本館3F

自民改革会議 様

〒:0003/0003

発行日2026年01月20日 請求No. [REDACTED]

登録番号: T1010001110829
お問合わせ 請求書お問い合わせ窓口
吹田市江の木町34-5



1-9



120AKA1002352 003582 0003/0003

TEL:0120-611-099 5010315 50100152

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください

お客様コード [REDACTED]


パフォーマンスチャージ	単価/金額	カウント/月/率	内訳金額
モノカラー総出力		2,567カウント	
控除 1%の控除カウント		26カウント	
請求カウント		2,541カウント	
1 - 2000 /月	2.3円	2,000カウント	4,600円
2001 - 5000 /月	1.8円	541カウント	973円
フルカラーコピー		95カウント	
控除 1%の控除カウント		1カウント	
請求カウント		94カウント	
1 - 1000 /月	15.6円	94カウント	1,466円
フルカラープリント		526カウント	
控除 1%の控除カウント		6カウント	
請求カウント		520カウント	
1 - 1000 /月	13.1円	520カウント	6,812円
合計 (税抜き)			13,851円

整理番号	1-10
------	------

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	郵送料 1通分		
年月日	令和8年 1月 6日 ~ 令和 年 月 日	金額	140円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>《領収書貼付枠》</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <h3>領収書</h3> <p>自民改革会議 様</p> <p>[証紙切手引受] 第一種定形外(規格内) 28.0g @140 1通 ¥140</p> <hr/> <p>小計 ¥140</p> <hr/> <p>郵便物引受合計通数 1通 課税計(10%) ¥140 (内消費税等(10%) ¥12) 非課税計 ¥0</p> <hr/> <p>合計 ¥140 お預り金額 ¥150 おつり ¥10</p>  <p>〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 登録番号 T101000112577 取扱日時: 2026年 1月 6日 13:44 発行No. 260106A3385 端N68箱70 連絡先: 静岡県庁内郵便局 TEL: 054-254-9810</p> </div> </div>	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	140円	100%	140円

令和 8年 1月分給与 明細書

自民改革会議

氏名
所属

支給日 令和 8年 1月30日

受領印

勤 務		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	19.00	基本給(月給)	250,000	健康保険料	12,740	年末調整還付	0
				介護保険料	2,067	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	10,080	厚生年金保険	23,790		
		前月修正	0	社保料調整	0	合 計	0
				雇用保険料	1,430		
				所得税	4,700	差引支給額	201,753
				住民税	13,600		
						振 込 支 給 額	
				(減税前税額)	0		
				(定額減税額)	0	合 計	201,753
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	7,683
						特定保険料	5,057
						社会保険料計	40,027
		合 計	260,080	合 計	58,327		

税 額 表	甲欄
扶養人数	0

令和 8年 1月分給与 明細書

自民改革会議

氏名
所属

支給日 令和 8年 1月30日

受領印

勤 務		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	19.00	基本給(月給)	215,000	健康保険料	10,780	年末調整還付	0
				介護保険料	1,749	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	0	厚生年金保険	20,130		
		前月修正	0	社保料調整	0	合 計	0
				雇用保険料	1,182		
				所得税	3,700	差引支給額	166,659
				住民税	10,800		
						振 込 支 給 額	
				(減税前税額)	0		
				(定額減税額)	0	合 計	166,659
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	6,501
						特定保険料	4,279
						社会保険料計	33,841
		合 計	215,000	合 計	48,341		

税 額 表	甲欄
扶養人数	0

@475.080

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・ 人件費		
内容	社会保険料事業主負担分 12月分		
年月日	令和8年1月30日 ~ 令和 年 月 日	金額	196,600円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
《領収書貼付枠》	

納入告知書 納付書* 領収証書

国庫金 厚生保険

年度	年金特別会計	厚生労働省所管	取扱庁番号	取扱庁名
7	0343	6118	00064145	厚生労働省年金局(静岡)
納付目的月	令和 7年 12月分	納付期限	令和 8年 2月 2日 右記のとおり納付してください。	令和 8年 1月 22日
健康勘定	健康保険料	厚生年金勘定	厚生年金保険料	業務勘定
147272円		236619円		子ども・子育て提出金 4654円
事業所整理記号	事業所番号	うち証券受領	証券受領	合計額
005001225390100019856868475			全部 一部	千 百 十 位 千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 3 8 8 5 4 5
納付場所	静岡 年金事務所		420-8601 静岡市 葵区 追手町 9-6	
延滞金の計算方法	期限内に完納されなかったときは、延滞金の納付を要します。(健康保険法第181条、同法附則第9条、厚生年金保険法第87条、同法附則第17条の14、子ども・子育て支援法第71条) 弁済の充当の順序は、元本に充て、次いで延滞金に充てる。		自民改革会議	
歳入徴収官	厚生労働省年金局事業管理課長		様	
				上記の合計額を領収しました。 (領収目付等) 出納済 8.1.30 静岡銀行 県庁 (納付者渡し)

年金事務所窓口以外で、日本年金機構の職員がこの領収証書により領収することはありません。
この納入告知書(納付書)はPay-easy(ペイジー)対応のATM、インターネットバンキング等を利用して納付することができます。

翌年度5月1日以降現年度歳入組入

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	196,600円	/	196,600円
		100%	

令和 7年12月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 様
所属

1-12

支給日 令和 7年12月26日

受領印

勤 怠		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	20.00	基本給(月給)	250,000	健康保険料	12,740	年末調整還付	32,498
				介護保険料	2,067	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	10,080	厚生年金保険	23,790		
				社保料調整	0		
		前月修正	0	雇用保険料	1,430	合 計	32,498
				所得税	5,130	差引支給額	233,821
				住民税	13,600		
				(減税前税額)	0	振込支給額	
				(定額減税額)	0		
						合 計	233,821
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	7,683
						特定保険料	5,057
						社会保険料計	40,027
税 額 表	甲欄	合 計	260,080	合 計	58,757		
扶養人数	0						

38,597

令和 7年12月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 様
所属

支給日 令和 7年12月26日

受領印

勤 怠		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	20.00	基本給(月給)	215,000	健康保険料	10,780	年末調整還付	33,302
				介護保険料	1,749	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	0	厚生年金保険	20,130		
				社保料調整	0		
		前月修正	0	雇用保険料	1,182	合 計	33,302
				所得税	4,120	差引支給額	199,541
				住民税	10,800		
				(減税前税額)	0	振込支給額	
				(定額減税額)	0		
						合 計	199,541
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	6,501
						特定保険料	4,279
						社会保険料計	33,841
税 額 表	甲欄	合 計	215,000	合 計	48,761		
扶養人数	0						

32,659

@71,256

賞与 (冬季)

明細書

自民改革会議

氏名 様
所属

1-12

支給日 令和 7年12月10日

受領印

勤	意	支	給	控	除	そ の 他	
		賞与	437,500	健康保険料	21,413		
				介護保険料	3,474		
				厚生年金保険	39,985		
				雇用保険料	2,406	合計	0
				所得税	15,119	差引支給額	355,103
				(減税前税額)	0	振込支給額	
				(定額減税額)	0	振込支給1	355,103
						合計	355,103
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	12,913
						特定保険料	8,500
税額表	甲欄	合計	437,500	合計	82,397		
扶養人数	0						

64,872

賞与 (冬季)

明細書

自民改革会議

氏名 様
所属

支給日 令和 7年12月10日

受領印

勤	意	支	給	控	除	そ の 他	
		賞与	376,250	健康保険料	18,424		
				介護保険料	2,989		
				厚生年金保険	34,404		
				雇用保険料	2,069	合計	0
				所得税	13,001	差引支給額	305,363
				(減税前税額)	0	振込支給額	
				(定額減税額)	0	振込支給1	305,363
						合計	305,363
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	11,111
						特定保険料	7,313
税額表	甲欄	合計	376,250	合計	70,887		
扶養人数	0						

55,817

@120,689

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	会派茨城県視察 1月14日～15日 11名分		
年月日	令和8年 1月 14日 ~ 令和8年 1月 15日	金額	773,370円

目的	報告書参照
使途	視察代
政務活動・ 県政との 関連性	参加県議各県外調査概要書 参照
<<領収書貼付枠>> $773,040円 + 振込手数料 330円 = 773,370円$	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	773,370円	100%	773,370円

承認結果<振込振替>

処理日時 2026年01月27日 12時01分15秒

■取引情報

取引ID	260127000242886
受付番号	0127003
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 01月30日
取引名	01月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	袋井支店 (325) 普通 0218052
受取人名	インシュアツドウカ
登録名	遠州鉄道株

■振込金額

入金金額	773,040円
税込手数料	330円
引落合計金額	773,370円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2026年01月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2026年01月30日
承認日時	2026年01月27日 12時01分
コメント	会派茨城県視察(1/14~15 11名)

振込依頼を受けました。
振込依頼は1月30日扱いです。

会派原発議連東海村等視察 (1/14~15)

【県外調査概要書】

- 和田篤夫 2/17
- 鈴木澄美 2/3
- 野田治久 2/10
- 坪内秀樹 2/9
- 勝俣昇 2/2
- 岩田徹也 (報告書作成)
- 河原崎聖 2/16
- 鈴木利幸 2/25
- 中沢公彦 2/6
- 飯田末夫 2/16
- 杉本好重 2/13

ご旅行日程表

発行日 令和8年1月7日



国光庁長官登録旅行業第2117号
IATA公認代理店 日本旅行業協会(JATA)正会員

自民改革会議

様

遠州鉄道株式会社 旅行営業課

ご旅行日 2026年1月14日(水)～1月15日(木) 1泊2日

行先 (タイトル) 日本原電 東海第2(原子力)発電所視察

中遠旅行営業所
〒438-0016 磐田市岩井2190-1
TEL0538-31-5511 FAX0538-31-5517

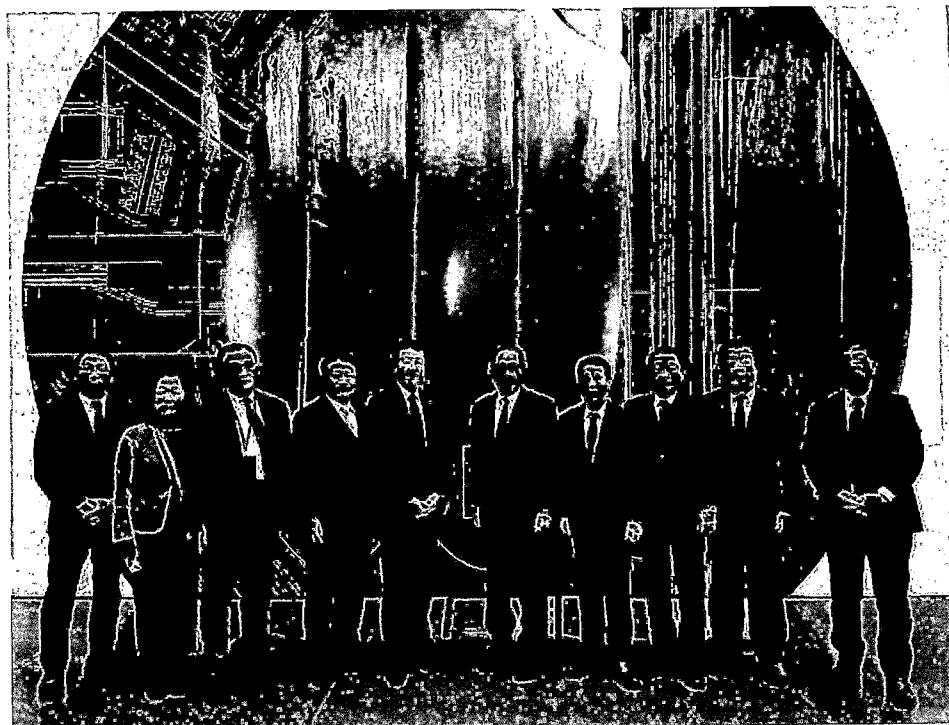
担当 XXXXXXXXXX

★当日は、お渡しした切符のお時間・便名と指定席をご確認下さい。

★本人確認のため、免許証を忘れずにご持参下さい。

2026年 1月14日(水) 県内最寄り駅	
浜松駅	====<ひかり634号>==== 静岡駅
7:50 発	8:12 発 9:01 着
静岡駅	====<こだま818号>==== 新富士駅
7:33 発	7:47 発 8:00 発 8:46 着
品川駅	====<首都高速・常磐道>※途中車中お弁当==== 那珂IC
9:15 発	
那珂ニュー	==== ジョン科学技術研究所視察(核融合発電研究所) ====
11:45 頃/12:00~15:00	ダイワロイネットホテル水戸(泊)
	15:45 頃
	水戸市内(夕食) 18:00~
2026年 1月15日(木)	
ホテル	==== 日本原子力発電所(東海第2(原子力)発電所)視察 ==== ひたちなか市(昼食)
8:30 発	9:30~12:00 12:20~13:00
	※2日目は他所の視察先<和響エコファーム>…別紙参照
	※3名(鈴木利幸・坪内秀樹・岩田徹也)
====	ひたちなかIC
	====<常磐道・首都高速>==== 箱崎ランプ
東京駅	====<新幹線>==== 三島駅・新富士・静岡
15:00 頃着	==== 浜松駅
	※新幹線自由席
	県内最寄り駅

県外視察報告書



1. 視察概要

(1) 視察日程

令和8年1月14日(水)・15日(木)

(2) 視察目的

次世代エネルギー政策に関する知見を深めるとともに、核融合研究の現状を把握し、今後の県政運営および政策検討の参考とすることを目的として実施した。

2. 視察行程

【1日目】令和8年1月14日(水)

各自最寄りの新幹線駅 → 品川駅 → 那珂フュージョン科学技術研究所 → 水戸市内宿泊

【2日目】令和8年1月15日(木)

水戸市内宿泊先 → 日本原子力発電(株)東海・東海第二原子力発電所 → 東京駅
→ 各自最寄りの新幹線駅

3. 視察参加者

中沢 公彦・鈴木 利幸・鈴木 澄美・和田 篤夫・河原崎 聖・野田 治久・坪内 秀樹
勝俣 昇・飯田 末夫・杉本 好重・岩田 徹也・中部電力関係者2名

鈴木利幸：14日_前泊、15日_和饗エコファーム視察、坪内秀樹・岩田徹也：2日目は和饗エコファーム視察

飯田末夫：14日_前泊、2日目のみ視察参加

4. 那珂フュージョン科学技術研究所視察(1日目)

(1) 応対者

量子科学技術研究開発機構 (QST) 那珂フュージョン科学技術研究所 所長 ██████████ 氏
トカマクシステム技術開発部長 ██████████ 氏
先進プラズマ研究部長 ██████████ 氏
RF 加熱開発グループリーダー ██████████ 氏

(2) 視察内容及び所見

那珂フュージョン科学技術研究所は、量子科学技術研究開発機構 (QST) が所管する核融合研究の中核拠点であり、次世代エネルギーとして期待される核融合発電の実現に向け、国際協力のもとで研究開発を進めている。日本と欧州を中心とした国際的な研究体制の中で、核融合の科学的検証から装置開発、運転技術の確立に至るまでを担っており、国際プロジェクトの一翼を担う重要な研究拠点として位置付けられている。

当日は、研究所の概況説明を受けた後、JT-60SAを中心とする大型核融合実験装置、制御施設および関連設備を見学した。JT-60SAは、将来の核融合発電の実現に向けた技術実証を目的とする世界最大級の研究装置の一つであり、超高温プラズマを安定的に生成・制御するための高度な磁場制御技術や精密な計測技術が導入されている。

現地見学を通じ、核融合研究は理論研究にとどまらず、装置の設計・製造から運転、保守に至るまで、極めて高い安全管理水準の下で実施されていることを確認した。長期にわたる安定運用を前提とした設備管理や計画的な更新体制が構築されており、大規模研究施設を継続的に運用していくための組織的・技術的な取組の重要性について理解を深めることができた。

また、核融合研究は研究者のみならず、装置製造や部品開発、制御技術など幅広い産業分野との関わりを持つ分野であり、ものづくり産業が集積する静岡県にとっても無関係ではない。人材育成や産業技術の高度化といった観点から、こうした国の研究動向を的確に把握し、将来の県内産業や人材育成施策に生かしていくことの重要性を感じた。

(3) 質疑応答 (要旨)

【主な質問】

- ・核融合研究に関連するスタートアップや民間企業との関係性について
- ・核融合発電の実用化時期および原子力発電との関係について

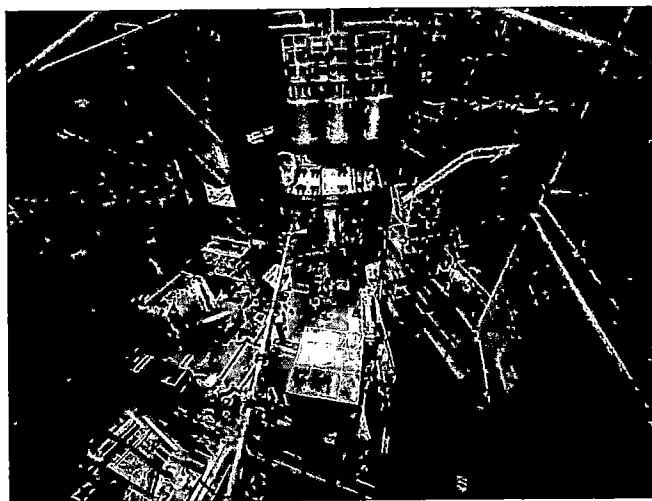
【主な回答】

核融合分野では研究方式ごとに関連するスタートアップが生まれており、要素機器開発から発電実証に向けた段階へと取組が進んでいることが説明された。一方で、日本の核融合関連スタートアップは海外と比べ投資規模が小さく、資金面での課題があることが示された。将来展望としては、政府方針において2030年代に発電実証を目指し、その後、社会的受容性やコスト面の課題を整理しながら、2050年頃の商用化を見据えた長期的な取組であることが示された。

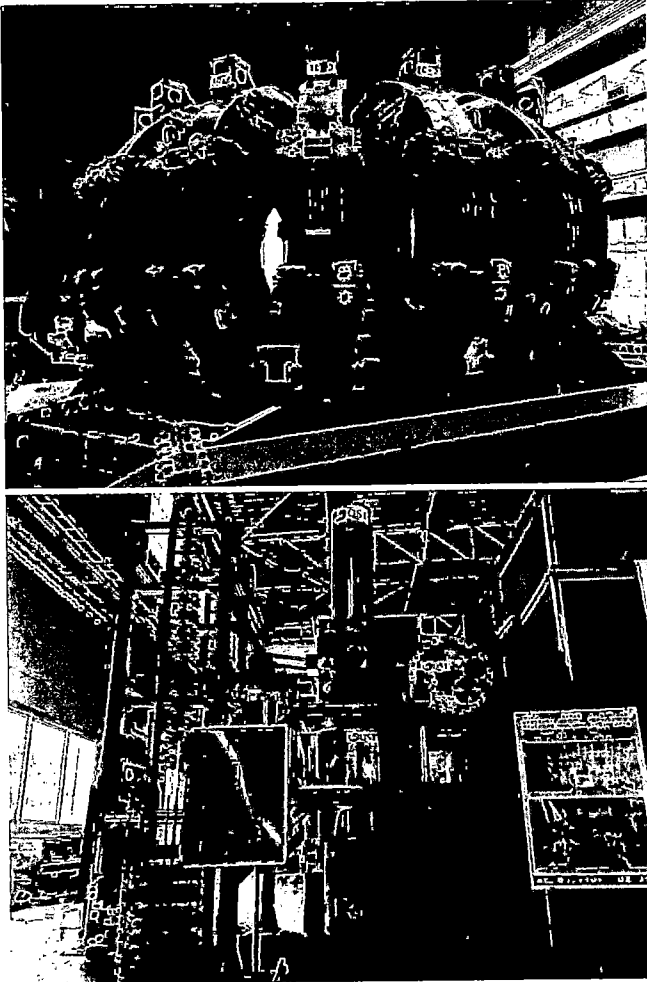
(4) 意見交換 (要旨)

人材育成については、研究者に限らず、装置開発、試験施設、機器製造など幅広い分野の人材を対象としており、国際的な研修や若手研究者向けの教育プログラムを通じて、次世代を担う人材育成が進められていることが説明された。

また、大学・研究機関と産業界が連携し、研究成果を将来の産業につなげる取組や、地元自治体・地域企業との技術交流を通じた地域産業との連携が進められている点も示された。



JT-60SA本体室



5. 日本原子力発電株式会社 東海・東海第二発電所視察(2日目)

(1) 対応者

日本原子力発電株式会社 東海事業本部 東海発電所・東海第二発電所 副所長

氏

廃炉措置室長・保守室長

総務室・渉外報道グループ

氏

氏

(2) 視察内容及び所見

日本原子力発電株式会社は、1957年に電力会社や電源開発などの出資により設立された、我が国で唯一の原子力発電専門会社であり、日本の原子力発電の黎明期から中核的な役割を果たしてきた。東海村は原子力発祥の地として知られ、1966年に日本初の原子力発電所である東海発電所が完成、1978年には東海第二発電所が運転を開始するなど、長年にわたり電力の安定供給に貢献してきた。

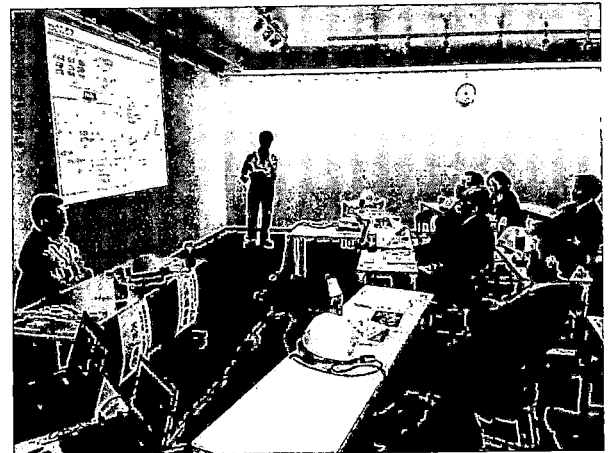
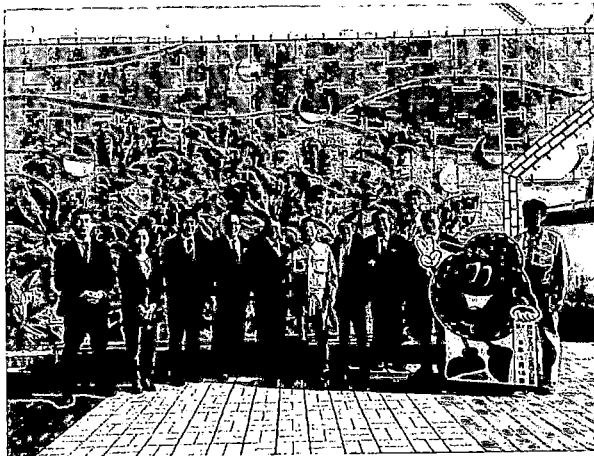
現在、32年間の運転を終えた東海発電所では、2001年から廃炉措置が進められており、原子炉領域や原子炉本体の解体など、段階的かつ計画的な措置工事が実施されている。一方、東海第二発電所については、2011年の福島第一原子力発電所事故以降、発電を休

止しており、国が定める極めて厳格な原子力規制に基づき、安全性向上対策工事が進められている。

視察当日は、原子力館において施設概要および安全対策に関する説明を受けた後、免許証等による本人確認を経て入所証明を受け、専用バスで発電所構内へ移動した。管理区域内では、登録確認や線量計の着用など、厳重な安全管理体制の下で視察が行われた。構内では、建設中の防潮堤や常設代替高圧電源装置置場をバス車内から確認した後、廃炉措置が進む東海発電所に立ち入り、熱交換器および中央制御室を視察した。津波対策や電源確保、原子炉冷却機能の維持など、自然災害や非常時を想定した多重的な安全対策が講じられていることを、現地で具体的に確認することができた。

その後、原子力館に戻り質疑応答の時間が設けられた。視察中も各所で説明や質疑が行われていたことから、主な質問としては外国人労働者の雇用に関する点が挙げられ、外国人労働者の雇用は行っているものの、管理区域内での作業には従事していないとの説明があった。

本視察を通じ、原子力発電所の運営や廃炉、安全対策が、厳格な法規制と高い安全意識の下で進められている現状を把握するとともに、長期にわたる施設管理と地域住民への丁寧な情報提供の重要性を改めて認識した。原子力を巡る課題は多岐にわたるが、安全確保を最優先とした不断の取組と、地域との信頼関係の構築が不可欠であると感じた視察であった。



6. 全体総括（1日目・2日目を踏まえて）

本県外視察では、1日目に那珂フュージョン科学技術研究所を、2日目に日本原子力発電株式会社の東海・東海第二発電所を視察し、我が国のエネルギー政策を「将来」と「現在」の両面から確認する機会となった。

那珂フュージョン科学技術研究所では、核融合発電という将来のエネルギー源の実現に向け、国際協力のもとで長期的な研究開発が進められている現状を確認した。一方、東海・東海第二発電所では、原子力発電という現在のエネルギー供給を支える技術や、安全対策、さらには廃炉という課題に、極めて厳格な規制と高い安全意識の下で対応している実態を把握した。

両施設の視察を通じ、エネルギー政策は単一の手法に依存するものではなく、短期・中期・長期の視点を持って、多様な選択肢を組み合わせながら進めていく必要があることを改めて認識した。現在を支える原子力発電の安全確保と、将来を見据えた核融合研究の着実な推進は、対立するものではなく、連続性を持った政策課題である。

また、いずれの施設においても、技術そのものだけでなく、それを支える人材、安全文化、組織的な運営体制が極めて重要であることが共通しており、エネルギー政策は科学

技術政策であると同時に、人材政策・安全政策でもあることを強く感じた視察であった。

7. 県政への示唆（エネルギー・安全・人材）

（1）エネルギー政策への示唆

エネルギーを巡る国際情勢が不安定化する中、特定の資源や国に過度に依存しないエネルギー構造を構築することは、国のみならず地方自治体にとっても重要な課題である。核融合研究が示す将来像は、長期的にはエネルギー供給の選択肢を広げ、国際的な資源争奪の緩和につながる可能性を持つものである。

静岡県としても、国のエネルギー政策や研究動向を的確に把握し、短期的な電力供給の安定とともに、中長期的なエネルギー転換の方向性を踏まえた施策検討が求められる。

（2）安全・危機管理への示唆

東海・東海第二発電所の視察では、原子力施設における安全対策が、設備面だけでなく、運用、訓練、情報公開を含む多層的な取組によって支えられていることを確認した。これは、原子力に限らず、大規模インフラや重要施設全般に共通する考え方である。

自然災害が多発する静岡県においても、インフラ整備や施設運営における「想定外を前提とした備え」や、長期運用を見据えた安全文化の醸成が、県政の重要な視点となる。

（3）人材育成・産業振興への示唆

核融合研究や原子力発電所の運営は、研究者だけでなく、装置製造、保守、制御、管理など、多様な分野の専門人材によって成り立っている。とりわけ、那珂フュージョン科学技術研究所では、国際的な人材交流や若手育成が積極的に行われており、将来を見据えた人材育成の重要性を強く感じた。

ものづくり産業が集積する静岡県にとって、こうした国の研究拠点やエネルギー関連産業との接点は、産業技術の高度化や人材育成につながる可能性を持つ。県としても、大学・企業・研究機関との連携を視野に入れ、将来を担う技術人材の育成と産業振興に結び付けていく視点が重要である。

県外視察報告書 (2日目)

1 視察目的

本視察は、農業の6次産業化による付加価値創出、地域雇用の確保、耕作放棄地の活用、資源循環型農業の実践事例を調査し、静岡県及び函南町における農業政策・地域政策への活用可能性を検討することを目的として実施したものである。

特に、干し芋を中心とした加工事業による安定雇用の創出、国・県の補助制度を活用した事業展開、下水汚泥由来肥料の活用による資源循環の取り組みについて、現地での具体的な運営実態を把握することを主眼とした。

2 視察日時

令和8年1月15日(木)

3 視察先

和郷エコファーム株式会社 北関東事業所 (所在地:茨城県下妻市比毛 45-5)

4 参加者

鈴木 利幸 坪内 秀樹 岩田 徹也

5 対応者

和郷エコファーム株式会社 生産事業部 生産部門 茨城事業所 所長 友寄 千華 氏

6 視察内容

(1) 干し芋加工事業と雇用の取り組み

本事業所では、主に干し芋の製造・加工を行っており、シフトを比較的自由に組める就労体制のもと、約20名の主婦層を中心にパート・アルバイトとして雇用している。家庭や子育てと両立しやすい柔軟な働き方を導入することで、地域に根ざした安定的な雇用の確保を実現している点が特徴である。

干し芋は季節性の高い加工品であるため、施設の稼働が特定時期に偏る課題があるが、これに対応するため、キャベツ栽培を開始し、通年稼働体制の構築を図っている。

さらに、既存の加工設備を活用したドライフルーツ製造への挑戦も検討されており、雇用を切らさないための工夫が現場主導で進められている。

(2) 耕作放棄地の活用と地域との信頼関係

農地については、耕作放棄地の活用から事業を開始しており、もともとは梨園であった土地を再生して営農している。地域では、外部からの新規参入者に対し土地を貸さないという意識も強かったが、国や県の助成金・補助金制度を活用しながら、地道な営農を継続することで、時間をかけて地域との信頼関係を構築してきた。

現在では、地主側から「自分の土地も活用できないか」と声が掛かるようになり、信用の蓄積が新たな農地確保につながる好循環が生まれている。農業においては、制度や技術だけでなく、地域との信頼形成が事業継続の基盤であることを示す事例である。

(3) 汚泥由来肥料の活用と資源循環

本事業所では、下水処理過程で発生する汚泥を原料とした肥料を活用している。適切に処理・熟成された汚泥肥料は、安全性が確保されており、窒素やリン等の養分を安定的に含む、土壌改良効果の高い優良な肥料であると説明を受けた。

函南町においては、下水処理センターから排出される汚泥を現在は有料で処理している状況にあるが、本視察では、これを「廃棄物」ではなく「資源」として農業分野に活用できる可能性について調査を行った。資源循環、農業生産性の向上、処理コストの軽減を同時に実現できる可能性を有する取り組みとして注目される。

7 所見・今後の活用可能性

本視察を通じ、干し芋加工を核とした6次産業化、柔軟な雇用形態による女性の就労支援、耕作放棄地の再生、汚泥肥料の活用による資源循環など、複数の政策課題を同時に解決する実践的なモデルを確認することができた。静岡県及び函南町においても、農業振興、雇用創出、下水汚泥の有効活用といった分野で応用可能性が高く、今後は制度面・技術面・地域合意形成の観点から、具体的な検討を進めていく必要があると考える。

県外調査概要書

令和8年1月16日

会派名・議員氏名 自民改革会議 和田 篤夫

目 的	電力エネルギーの将来と原発廃炉の現況を視察し、県政の関連事業の政策提言に活かす。
年 月 日	令和8年1月14日～令和8年1月15日
場 所	茨城県
内 容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容 1, 2, 3については、報告書「会派 1-13 」参照</p> <p>4 県政へ反映</p> <p>(1) 量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所 この研究所では、近未来のエネルギーと言われる核融合反応を、科学的に再現する「ITER 核融合実験炉計画」を進めている研究所で、太陽がエネルギーを生み出す仕組みを再現しようという取り組みを研究しており、この施設内に巨大な核融合実験炉「ITER」を建設中で、この計画には、欧州、ロシア、米国、韓国、インド、日本が参加している巨大な国際共同プロジェクトとのこと。核融合エネルギーは、①豊富な燃料資源（海水）、②優れた環境性（二酸化炭素の出ず、低レベルの放射性廃棄物）、③高い安全性（核融合は瞬時に停止可能）、④電力効率が良い（核融合燃料1gが石油8tに相当）という優れた特長を有することから、資源の乏しい日本にとって期待したい研究であることを知ることができた。日本はこの「ITER」の主要機器である超電導磁石、プラズマ加熱装置等を開発、先般プラズマ電流とプラズマ体積の世界記録を樹立したとのことで、大いに期待したい。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

(2) 東海・東海第二発電所

ア東海発電所

日本の高度経済成長に合わせて1965年に国内初の商業用原子炉となった東海原発は、1998年27年間の営業運転を経て運転停止、現在原子炉解体（廃炉作業）中であり、その作業状況を現場で確認できた。日本で初めての解体作業であり、多くの作業員と莫大な経費、原子炉領域の解体期間も30年を要する大変な事業であることを改めて認識できた。中部電力浜岡原発の解体作業にも大きな示唆を与える解体作業であり、安全かつ多くのデータを後世に残しながら、慎重に進めてもらいたいと強く感じた。

イ東海第二発電所

首都圏にある唯一の原子力発電所である「東海第二発電所」は、東海原発と同施設にあり、東日本大震災時に原子炉が自動停止したものの、深刻な原子力事故には至らなかったが、震災以降は発電を休止しており、再稼働の見通しも立っていないとのことである。現在は、津波対策（防潮堤の建設等）を含め、様々な工事が行われているようで、東海原発の廃炉作業も同施設内で行われており、施設内は工事車両や多くの作業員で混雑している状況を確認できた。浜岡原発の防災工事も合わせて注視したい。

<p>県外調査概要書</p> <p>令和8年1月15日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 鈴木澄美</p>	
目 的	原発議連 東海村等視察
年 月 日	令和8年1月14日(水)～15日(木)
場 所	量子科学技術研究開発機構 那珂フュージョン科学技術研究所 日本原子力発電株式会社東海事業所
内 容	<p>(1から3までは 会派 報告書 / - 13 を参照)</p> <p>1 行程</p> <p>【1月14日】 自宅―(自家用車送迎)―JR新富士駅―(新幹線)―JR品川駅―(貸切バス)―量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所―(貸切バス)―宿泊(ダイワロイネット水戸)</p> <p>【1月15日】 宿泊(ダイワロイネット水戸)―(貸切バス)―日本原子力発電株式会社東海事業所―(貸切バス)―JR東京駅―(新幹線)―JR新富士駅―(タクシー)―自宅</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>4 県政への反映</p> <p>① 量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所 私がここを最初に訪れたのは3年前で、当時の県議会正・副議長として、原子力発電における安全性の高い研究をしている国の機関があると聞き、核融合発電とはどのようなものか一度見てみたいとの思いがきっかけであった。 当時は、最新の研究施設で核融合の新たな実験成果が得られたばかりで、その経緯を聞くことができた。 3年が経ち、この分野の研究成果がどれだけ進んでいるか、その過程で地域産業にどのような影響があるかなどについて関心があり、再度の訪問となった。</p> <p>原子力発電に対するイメージは東日本大震災以降、決して良いものではない。しかし、エネルギー資源のほとんどない日本にとって、またいずれ世界でも同様な課題</p>

を抱えることになることを考えると、「安全」を最優先とした最新の科学技術を正しく理解することが重要であり、実用化までには何十年もかかることから、早期に取り組む必要がある。

研究所では発電に必要な、巨大なエネルギーを生み出す核融合炉の研究を進めており、EU などと共同研究を進めている。日本国内では、「JT-60SA」という施設があり、私が前回訪れた直前には、初稼働においてエネルギーとなるプラズマの電流と体積で世界記録を達成した直後であった。また、そのノウハウを、フランスにある「ITER」と呼ばれる EU などと日本の共同で実際に発電の基となる大型施設の原型炉の基礎研究に応用され、2030 年頃にその成果が得られると予想している。現在、国産の「JT-60SA」は、さらに高効率を目指し、装置の改造が行われており、今年度中に完成し、新たな実験に取り組むという。

今後、世界最先端技術を担う人材確保は重要な課題である。この研究所では毎年、EU や国内から選抜された 10 人ほどのこの分野を学ぶ大学院生等を対象に、特別講義や研修を進めている。

また、研究施設を支えているのは、大手の企業だけでなく、地元茨城県内の中小企業・零細企業も参加し貢献している。中小零細企業は、この特殊な研究施設に関わることで、様々な知見を得て新たな分野に進出するきっかけにもなっているといい、県や地元行政などとの連携も重要であると説明を受けた。

本県でも今後、世界水準の研究施設や機関など、また既に世界水準の民間企業が存在し、高度人材の確保が大きな課題となる。その育成のための取組は視察によりヒントを得た。

さらに、県内の特色ある技術を持つ中小・小規模企業などがこれらの最先端技術研究機関と連携し、新たな産業に繋がる可能性を模索していきたい。

② 日本原子力発電株式会社東海事業所

茨城県東海村にある日本原子力発電株式会社の商用で日本最古の東海発電所の廃炉を進める現場を視察した。

廃止が決定した以降は、直後から 3 年ほどかけて燃料の搬出を完了し、原子炉以外の解体撤去はほぼ終盤にさしかかり、今後は原子炉本体の解体撤去が行われる。運転停止から 35 年ほどの時間を要する廃止処理は、現場を訪れてそこで作業をする方達の姿などを見ることにより大変な作業だとつくづく感じた。

本県にも浜岡原発があり、私はここを含めて全国各地にある原子力発電所を訪れ、運転状況や安全対策などを視察してきたが、廃炉の現場は初めてである。原発は特に安全性を最優先とする施設であるが、そのためには最新鋭の機器の導入が進めら

様式第2号

	<p>れている一方で、今回の施設はいわゆるアナログ型の施設でその状況は運転室に入り実感できた。</p> <p>日本のエネルギー確保のために、原子力発電は欠かせない。ベストミックスといって再生エネルギーや従来の化石燃料を使う発電との連携が重要視されている。</p> <p>未来志向でエネルギー問題を考えていく上で、原子力発電を巡る様々な課題解決に向け努力していかねばならないが、このような地道に原子力発電所の廃炉処理に取り組む関係者の存在に、いろいろ考えさせられる視察であった。</p> <p>本県にある浜岡原発の1, 2号機も廃炉が決まっている。原子力発電の再稼働や廃炉などの作業が進む中、冷静にこの取組を見ていく必要があり、その事例の一つとして今回の視察は参考になった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和8年 1月 15日

会派名・議員氏名 自民改革会議 野田治久

目的	日本電源東海第2（原子力）発電所視察
年月日	令和8年1月14日～令和8年1月15日（1泊2日）
場所	1. 那珂フュージョン科学技術研究所 2. 日本原電東海第2（原子力）発電所
内容	<p>1 行程 報告書 1-13 を参照</p> <p>2 応対者 報告書 1-13 を参照</p> <p>3 聴取内容 報告書 1-13 を参照</p> <p>4 県政への反映 視察初日の那珂フュージョン科学技術研究所は高市総理の政権公約の内エネルギー安全保障政策で次世代革新炉やフュージョンエネルギーの早期（2050年頃）の社会実装を目指す重要な施設である。 新しい革新的技術の動向を的確に把握し、将来の県内産業や人材育成施設に生かしていく重要性を痛感した。 また、二日目の東海第2発電所の廃炉に向けた安全対策が設備面だけでなく、運用、訓練、情報公開を含む多層的な取り組みによって支えられていることを確認できた。中部電力浜岡原子力発電所を抱える、静岡県としても大変興味深く、意義ある貴重な視察であった。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p style="text-align: right;">令和8年1月16日</p> <p style="text-align: center;">会派名・議員氏名 自民改革会議・坪内秀樹</p>	
目 的	次世代エネルギーである核融合研究の現状と課題を把握し、今後のエネルギー政策や人材育成への活用を検討する
年 月 日	令和8年1月14日（水）～15日（木）（2日目については、別紙参照）
場 所	茨城県那珂市
内 容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p style="padding-left: 2em;">1～3については、会派報告書<1-13>を参照</p> <p>4 県政への反映</p> <p>今回の会派視察を通じ、核融合エネルギーは長期的視点に立った国家戦略のもとで推進される次世代エネルギーであり、研究開発の継続性や人材・技術の蓄積が不可欠であることを認識した。静岡県においても、将来のエネルギー政策を見据え、国の研究動向を的確に把握するとともに、関連する先端技術や研究分野に対応できる人材育成を進めていくことが重要である。また、大規模研究施設の運営から得られる知見は、県内産業における高度な製造技術や品質管理、長期的な設備保全の考え方にも応用可能であり、産学官連携による技術力向上や産業振興につなげていく必要がある。加えて、エネルギーの安定供給や安全保障の観点からも、多様なエネルギー選択肢を持つことの意義を県民に分かりやすく発信していき、将来を見据えた持続可能な形で県政に反映していきたい。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和8年1月16日

会派名・議員氏名 自民改革会議・坪内秀樹

目的	補助制度を活用した農業経営モデルと資源循環型農業の先進事例を把握し、本県施策の参考とする
年月日	令和8年1月15日(木)
場所	茨城県下妻市 和饗エコファーム株式会社
内容	<p>1 行程 ダイワロイネットホテル水戸→サツマイモ加工場(下妻市) : . さつまいも加工場の見学→車にて東京駅へ移動→県内最寄り駅</p> <p>2 対応者</p> <p>3 聴取内容 2~3については会派報告書 1-13 参照</p> <p>4 県政への反映 今回農業法人(和饗エコファーム株式会社)干し芋加工場を視察し、耕作放棄地を活用した高付加価値作物の生産から加工・販売までを一体化する六次産業化の取組は、本県農業の持続的発展において大いに参考となるものであった。特に、国・県補助制度を効果的に活用した施設整備や、女性を中心とした柔軟な雇用体制の構築は、担い手不足が課題となる本県において重要な視点である。また、汚泥肥料の活用など資源循環型農業の推進は、環境負荷軽減とコスト削減の両立にも資すると考えられる。県内における遊休農地の再生支援、加工体制強化、資源循環の仕組みづくりに反映していきたい。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和8年 1月15日

会派名・議員氏名 自民改革会議 勝俣 昇

<p>目的</p>	<p>エネルギー安全保障の確保に係る原子力発電施設の安全性への取組み等を調査研究するため</p>
<p>年月日</p>	<p>令和8年1月14日～令和8年1月15日</p>
<p>場所</p>	<p>茨城県那珂郡東海村</p>
<p>内容</p>	<p>1 行程・2 応対者・3 聴取内容について 1～3については、会派報告書<1-13>参照</p> <p>4 県政への反映</p> <p>本県の浜岡原子力発電所の安全性について調査研究を行う為³に他県の原発力発電施設の安全性の向上への取組等を調査することで、浜岡原発の今後における安全性の確認等に役立てる。また、今回視察した東海第2原発は廃炉作業を行っており、津波対策を行いながら廃炉に向けた作業手順や施設整備の状況を確認し、浜岡原発の廃炉に向けた取組みへの比較を行うことで安全性の監視に役立てる。</p> <p>今回は、原子力発電に変わるプラズマ核融合の試験研究施設も視察し、将来的な日本のエネルギー確保に向けた取組みを知ることができたので、浜岡原発の将来のあるべき姿に目を向けた議論について注視していく必要性を感じた。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和8年1月15日

会派名・議員氏名 自民改革会議・岩田徹也

目的	日本原電東海第2（原子力）発電所視察
年月日	令和8年1月14日（水）～令和8年1月15日（1泊2日）
場所	那珂フュージョン科学技術研究所 （茨城県那珂市向山801番地1）
内容	<p>1 行程 12日目は他所の視察先<和饗エコファーム>…別紙参照</p> <p>2 対応者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>1.～3.に関しては、 別紙 を参照</p> <p>4 県政への反映</p> <p>那珂フュージョン科学技術研究所の視察を通じ、核融合研究は将来のエネルギー確保のみならず、人材育成や産業技術の高度化に直結する国家的プロジェクトであることを認識した。国際協力の下で進められる長期的な研究開発や、安全管理を前提とした大規模施設の運用は、静岡県におけるエネルギー政策や危機管理、さらにはものづくり産業を支える人材育成の在り方を考える上でも示唆に富む。今後は、国の研究動向を的確に捉え、県内産業や教育分野との連携を意識しながら、将来を見据えた政策検討に生かしていく。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書

令和 8 年 1 月 15 日

会派名・議員氏名 自民改革会議・岩田徹也

目 的	和饗エコファーム視察
年 月 日	令和 8 年 1 月 15 日
場 所	和郷エコファーム株式会社 北関東事業所（茨城県下妻市比毛 4 5 - 5）
内 容	<p>1 行程</p> <p>09：00 ダイワロイネットホテル水戸 〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1 - 7 - 4 4</p> <p>↓</p> <p>10：30～11：00 サツマイモ加工場（下妻市） 〒304-0033 茨城県下妻市堀籠 さつまいも加工場の見学</p> <p>11：00 車で東京駅へ移動（道中昼食）</p> <p>↓</p> <p>14：30 東京駅到着 → 県内最寄り駅</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>2～3 に関しては、 別紙 視察報告書 を参照</p> <p>4 県政への反映</p> <p>この施設では、主に干し芋の製造・加工を行い、シフトを比較的自由に組める体制のもと、20 名ほどの主婦層を中心にパート・アルバイトとして雇用している。家庭と仕事を両立できる環境づくりが、地域に根ざした安定雇用につながっている。農地については、耕作放棄地の活用から事業をスタート。国や県の助成金・補助金を上手に活用しながら、地道に営農を継続し、時間をかけて地域との信頼関係を築いてきた。</p>

様式第2号

現在では「自分の土地も使えないか」と地主の仲間から声が掛かるようになり、信用が信用を呼ぶ好循環が生まれている。農業は技術や制度だけでなく、人との信頼関係が土台であることを、改めて実感した。

また、干し芋の季節性に対応するため、施設を年間通して稼働させる工夫としてキャベツ栽培を開始。さらに、既存設備を活用したドライフルーツへの挑戦も検討されており、雇用を切らさないための現場主導の取り組みが進められている。

加えて、下水処理過程で発生する汚泥を原料とした肥料の活用にも注目した。適切に処理・熟成された汚泥肥料は、安全性と肥効の両面で評価の高い資材であり、資源循環型農業の重要な要素です。県内においても、現在は有料処理している汚泥を「資源」として活用できる可能性があるのか、調査を進めていきたい。

耕作放棄地の再生、雇用の創出、資源循環、そして地域との信頼構築。現場で積み重ねられてきた実践から、静岡県の農業政策に活かしていく。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和8年2月10日

会派名・議員氏名 河原崎 聖

目的	原子力関連施設についての知見を得る。
年月日	令和8年1月14日(水)~15日(木)
場所	茨城県那珂市・東海村
内容	<p>1 行程 2 応対者 3 聴取内容</p> <p>※会派報告書 1-13 のとおり</p> <p>4 県政への反映</p> <p>那珂フュージョン科学技術研究所では、核融合という技術について視察をした。核融合は、いわゆる原子力発電とは異なり、電気を生み出す技術ではなく、既にある電力をプラズマという技術を用いてより大きな電力に増大させるものだという。同じ核関連施設でも、原子力発電所に比べて安全性が高いということで、この技術に以前から注目していた高市現総理大臣が、担当大臣であった時代に、核融合ではなくフュージョン技術という名称に改めたという説明があった。資源の乏しい我が国においては魅力的な技術と言えるが、本県においても水力発電と組み合わせることで大きな電力を生み出すことにつながる可能性があり、誘致を検討する余地はあると思う。実用化は2050年ころが見込まれているようなので、今後も注目していきたい。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

R8年1月15日

会派名・議員氏名 自民改革会議 鈴木利幸

目的	和饗エコファーム視察
年月日	令和8年1月14日(前泊)～1月15日(2日目のみ参加)
場所	茨木県下妻市
内容	<p>1 行程</p> <p>9:00 ダイワロイネットホテル水戸</p> <p>10:30 サツマイモ加工場視察</p> <p>14:30 東京駅着—浜松駅—自宅</p> <p>2 対応者 会派報告書 1-13を参照</p> <p>3 聴取内容 会派報告書 1-13参照</p> <p>4 県政への反映</p> <p>下水道汚泥肥料を使い、干し芋工場を視察。以前から行こうと思っていた工場であった。品種は紅はるかであって安定した芋である。サツマイモは、元来やせた土地で造る作物である為、休耕地、借地で造る事の出来る作物である。和饗エコファームの下水道汚泥肥料は、窒素分が少なくリン酸が多いのでサツマイモにはあっている肥料である。20名ほどの主婦をパート・アルバイトで雇用している。1年間雇用をするため、キャベツのカット野菜も間に挟み年間雇用と売り上げを伸ばしています。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和8年1月15日

会派名・議員氏名 自民改革会議・中沢公彦

目的	日本原電東海第2（原子力）発電所視察
年月日	令和8年1月14日（水）～令和8年1月15日（1泊2日）
場所	1. 那珂フュージョン科学技術研究所 （茨城県那珂市向山 801 番地 1） 2. 日本原電東海第2（原子力）発電所視察 （茨城県那珂郡東海村白方 1-1）
内容	1 行程 別紙参照 2 応対者 3 聴取内容 2～3に関しては、 別紙「日本原電東海第2（原子力）発電所視察報告書」 会派報告書〈1-13〉を参照

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

4：県政への反映

中部電力株式会社による浜岡原子力発電所の基準地震動のデータ不正問題が年明けに報告がありました。これまで、原子力エネルギーの重要性とエネルギーミックスによる将来にわたる電力の安定確保や経済産業への発展に向け、様々な視察や調査を重ねてまいりました。データ不正問題は、中部電力株式会社側と規制委員会の動向を注視しつつ、引き続き電力エネルギーについては調査を続けていきたいと考えています。

今回は、那珂フュージョン科学技術研究所に赴き、核融合システムの視察調査を実施しました。「地上に太陽を」。太陽と同じ原理の核融合は二酸化炭素を発生せず、海水を燃料とするなどまさに未来の地球温暖化の切り札となるシステムです。

実用化は数十年後になると思われませんが、世界各国の中でも日本の技術力は群を抜きました大いに期待されているものであり、まさに日本の将来をも背負った技術開発といえます。

そして、東海発電所にも行ってまいりました。日本最初の原子力発電所です。歴史を感じさせる中央制御室は、まさに歴史遺産といえるものでした。この廃炉解体现場の緻密な解体計画は、浜岡原子力発電所の解体にも大いなる参考となるものです。安全性を第一優先に実施されています。第二発電所の地震津波対策も、巨費を投じてあらゆる角度から検証された対策が施されています。これも、浜岡原子力発電所の対策と同様に実施されております。

将来にわたる電力エネルギーの重要性と安全管理という二極を成立させるための研究開発は日本の未来に大きく影響するものであり、静岡県においてもしっかりと向き合いながら再生可能エネルギーとともに取り組んでいく必要があると思います。

県外調査概要書

令和8年1月18日

会派名・議員氏名 自民改革会議・飯田末夫

目的	静岡県には浜岡原子力発電所が立地しており、原子力エネルギーの重要性を踏まえつつ、エネルギーミックスの中で原子力をどう位置づけるかを調査・研究し、国のエネルギー政策に資する知見を得ることを目的とする。
年月日	令和8年1月14日(水)～15日(木) ※前泊し、2日目のみ参加
場所	茨城県(那珂郡東海村)
内容	1 行程 別紙参照 2 対応者 1～2については、別紙「日本原電東海第2原子力発電所視察報告書」 会派報告書<1-13>参照 3 聴取内容 (1) 対応体制・説明概要 事業者側より、社長をはじめ複数の担当者が対応。東海発電所の概要、廃止措置の進捗、安全対策工事の状況について、資料・映像(VR・動画)を

用いて説明。

(2) 東海発電所の位置づけと特徴

日本初の商業用原子力発電所として1956年に運転開始し、約32年間運転し、1998年に停止。黒鉛減速・炭酸ガス冷却型原子炉という、日本で唯一の炉型。停止理由は安全上のトラブルではなく、経済性(発電コスト)によるものであり、燃料はすでにすべて取り出され、海外搬送を完了。

(3) 廃止措置の進捗状況、廃棄物処理と再利用の考え方

2001年から日本で初めて本格的な廃止措置に着手。原子炉本体以外の設備は概ね撤去が進行し、原子炉本体の解体は今後段階的に実施予定。完了目標は2035年頃となる。

(4) 安全性向上対策(津波・地震対策)ほか

発電所敷地は、海側から陸側に向かって標高3m~20m以上の段階構造。

最大の津波対策として、発電所を取り囲む延長約1.7km、高さ最大20mの防潮堤を建設中。防潮堤は直径約2.5m・深さ約60mの鋼管杭を多数打設し、地震・津波・液状化に耐える構造。

敷地内に複数の非常用冷却水槽（約5,000トン）を整備。非常用電源車・高圧電源設備・燃料備蓄により、最低7日間の電源・冷却機能を確保。

工事に従事する労働者については、外国人労働者も含まれるが、安全管理・資格確認を徹底したうえで配置。特定国に偏らない体制で対応。

4. 県政への反映

本県である浜岡原子力発電所を念頭に置いて、また、いざ有事という場面をも想定しながら説明を聞くこととなったが、やはり原発は効率・コストなどの面での優位性もあるが、稼働に関し、稼働中から停止後の撤去までには想像以上の手間や時間を要することがわかる。今後のエネルギー政策を考える上で、より慎重に、より深く考える必要を強く感じた。

今回、調査した知見を今後の議会活動などで活かしていきたい。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和8年1月15日

会派名・議員氏名 自民改革会議
杉本 好重


目的	次世代エネルギー政策及び原子力発電所の現状に関し知見を深め、今後の県政運営、政策検討の資とする。
年月日	令和8年1月14日(水)～令和8年1月15日(1泊2日)
場所	1. 那珂フュージョン科学技術研究所 (茨城県那珂市向山801番地1) 2. 日本原電東海第2(原子力)発電所視察 (茨城県那珂郡東海村白方1-1)
内容	<p>1 行程 別紙参照</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>2～3に関しては、 別紙「日本原電東海第2(原子力)発電所視察報告書」 会派報告書<1-13>参照</p> <p>4 県政への反映</p> <p>中部電力による浜岡原子力発電所のデータ改ざん不正が年明けに報道され、これまで再稼働に向け努力を重ね進めてきたことが水泡に帰してしまった。新潟柏崎原発の再稼働が進んでいる最中だったので、浜岡原発もその流れで一步進むことを期待していたので、非常に残念である。</p> <p>生活に欠かせない電気は、人口減少が進みデジタルに頼るこれからの時代に益々需要が高まり、いかに安価で安定した供給ができるか、県民生活を守る観点から極めて重要である。フュージョンエネルギーの実用化は2050頃を想定しているようだが、世界中の研究者の知見を結集し研究開発が進むことを期待したい。また、地元の浜松ホトニクスが核融合発電に寄与していることを知り、嬉しく思った。今後、浜岡原発が歩む道は多難であるが、国のエネルギー政策を把握しながら、県民の命と財産を守る県政運営に努めたい。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	郵送料 1 通分		
年月日	令和 8 年 1 月 30 日 ~ 令和 年 月 日	金額	410 円

目的	_____																																																																																				
使 途	_____																																																																																				
政務活動・ 県政との 関連性	_____																																																																																				
<p>《領収書貼付枠》</p> <div style="text-align: center;"> <p>領収書 様</p> <p>自民改革会議</p> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">[証紙切手引受]</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">11.0g</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1通</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">¥110</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>第一種定形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>@110</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊取扱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>速達</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥410</td> </tr> <tr> <td>郵便物引受合計通数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1通</td> </tr> <tr> <td>課税計(10%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥410</td> </tr> <tr> <td>(内消費税等(10%))</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥37</td> </tr> <tr> <td>非課税計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥410</td> </tr> <tr> <td>お預り金額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥510</td> </tr> <tr> <td>おつり</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥100</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 登録番号 T1010001112577 取扱日時：2026年1月30日 15:19 発行No. 260130A4739 端N67箱01 連絡先：静岡県庁内郵便局 TEL: 054-254-9810</p> </div>		[証紙切手引受]	11.0g		1通	¥110		第一種定形						@110						特殊取扱						(内訳)						速達						小 計					¥410	郵便物引受合計通数					1通	課税計(10%)					¥410	(内消費税等(10%))					¥37	非課税計					¥0	合計					¥410	お預り金額					¥510	おつり					¥100
[証紙切手引受]	11.0g		1通	¥110																																																																																	
第一種定形																																																																																					
@110																																																																																					
特殊取扱																																																																																					
(内訳)																																																																																					
速達																																																																																					
小 計					¥410																																																																																
郵便物引受合計通数					1通																																																																																
課税計(10%)					¥410																																																																																
(内消費税等(10%))					¥37																																																																																
非課税計					¥0																																																																																
合計					¥410																																																																																
お預り金額					¥510																																																																																
おつり					¥100																																																																																

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	410 円	/	
		100%	410 円